

## 令和4年度 第9回市長と能ん美りカフェトーク

### 根上校下婦人会との市長と能ん美りカフェトーク

日 時 令和4年2月4日（土）10時～11時

場 所 根上総合文化会館 喫茶ひまわり

参加人数 8人

#### 1) 市長 挨拶

- ・初めてカフェで開催することになり、まさに「能ん美りカフェトーク」という場になった。
- ・直近の事情として、能登地方で断水が起こっている。過去に同じようなことが能登地方で起こったことを受けて、能美市では改めて市内全域の空き家のチェックをした。今回はそのことが生かされて、幸い大きな断水になることはなかった。ただ、降雪もあり、上水道を消雪に使ったり、水道管の破裂を防ぐために水を出しっぱなしにしていた方もいて、水位が下がったため、節水の呼びかけをした。皆さまにも降雪時や低温時には節水へのご協力をお願いしたい。
- ・今日は、普段聞けないことや、何とかしてほしいということなど、何でもおっしゃっていただければと思う。

#### 2) カフェトーク

○市長の思う根上地区の魅力について

##### 【参加者】

- ・能美市では3地区それぞれ魅力があると思うが、根上地区の魅力について、市長の思いを聞きたい。

##### 【市長】

- ・夕日が見える海があること、根上地区の保育園のほとんどに室内プールがあること。また、能美スマートインターチェンジや能美根上駅があり、交通の要所としていろいろな広がりがある。企業誘致も大変好調であるし、北陸新幹線県内全線開業を迎えると、さらに能美根上駅の利用者も増えると思われるので、交流人口の拡大も期待でき

る地区であるという印象。

○市長の仕事などについて

**【参加者】**

- ・フェイスブックなどの投稿をマメにされている。また、いろいろなところに行っている印象がある。

**【市長】**

- ・毎日、午前5時半くらいに目が覚めて、新聞を読み、メールチェックをして、朝食を食べてフェイスブックへの投稿をする、それが日課である。
- ・現地現場が好きなので、皆さんと話をしたり、市の予算を組むときに必ず現場を見て、そこにいる方の話を聞いて予算に反映させたりしている。
- ・いろんなことをしているので、自分の記録を残すという意味も込めてフェイスブックやブログなどの投稿をしている。

○応援特典券について

**【参加者】**

- ・物価上昇があり、市で配布された特典券をたくさん使わせてもらった。次も期待しているが、今後もあるのか。

**【市長】**

- ・大変好評なので、考えていきたいと思う。

○能美市の奨学金制度について

**【参加者】**

- ・市特有の奨学金があると聞いたが、調べてもどこに載っているのかわからない。学校であっせんされるのは金額や年数の制限があるので、市でいいのがあれば。

**【市長】**

- ・市の育英資金制度がある。今、出生数が減っていて、その理由の一つとして教育にお金がかかりすぎることが挙げられている。国が大学の授業料をもっと下げたらどうかとの検討をしているようなので、市としてもしっかり考えていきたいと思う。

## ○子育て環境、GIGAスクールについて

### 【市長】

- ・子育て環境をどう整えていくかということに取り組んでいて、ハード面では保育園や児童館の整備を、ソフト面では何か困ったことがあったときに相談できる体制の整備を今行っている。特に夜中に具合が悪くなった子の相談窓口が少なく、親としては不安だと思うので、そういったところを是正していかなければと思っている。
- ・GIGAスクール構想として、子どもたちはタブレットをもって授業を受けている。先生もそれに対応していかなければならず、先生の年代や学校、学年ごとに差がでないように、分かりやすい授業を行う先生のやり方をほかの先生に伝えていくような取り組みも行っている。
- ・感染症の影響で長期に休む子が増えてきた中で、タブレットを持ちかえり、家で授業を受けたり、学校の雰囲気がわかるようにしたりしている。

### 【参加者】

- ・孫の授業参観に行ったときに、タブレットを使って授業を受けているのを見た。一人一台タブレットを貸与してくれてありがたい。
- ・授業のレベルが高く、世の中に出てもちゃんと対応できる子になるだろうと思った。

## ○口の健康について

### 【参加者】

- ・能美市の虫歯の比率が、1歳6か月くらいだと全国トップクラスで良いが、年齢が上がるにつれて、だんだん悪くなっていく。保育園や小中学校で食後に歯磨きとフッ化物洗口をすると虫歯は減る。50年前に新潟県のある自治体で、子どもの虫歯率が全国ワーストだったが、今はフッ化物洗口で全国トップクラスで虫歯がない。国や県も推進している。
- ・能美市は子育て支援に力を入れていただいているので、口の健康についてぜひ能美市でも取り組んでいただきたい。
- ・キシリトールや薬のガム、高濃度フッ素入り歯磨き粉でもよい。一番大事な永久歯が生えてくる4歳、5歳頃にやっておかないといけない。
- ・歯医者に行けばいいが、嫌がる子が多い。歯医者に行く子、行かない子で差が出てしまう。虫歯になる前の予防に力を入れてほしい。

**【市長】**

- ・今検討している。まもなく皆さんにお伝えできる日が来ると思う。
- ・良い話を聞いた。担当課にも伝えて勉強したい。

○根上文化会館の池について

**【参加者】**

- ・喫茶ひまわりにくるお客様から池についてよく聞かれる。春は花見スポットであり、芝生になったらいいねなどと言われており、答えに苦慮している。いろいろな理由はあるにしろ、もったいないので何とかなったらいいなと思っている。

**【市長】**

- ・貯水池としての機能の維持もあり、景観の問題だけではないのが現状。いろいろと考えているが、なかなか難しい。要望としてしっかりと受け止めさせていただく。

○根上総合文化会館の館内飲食について

**【参加者】**

- ・感染症も落ち着いてきたので、館内飲食ができるようにしてほしい。辰口福祉会館は飲食できると聞いている。

**【市長】**

- ・パーティションをして適切な距離を保ち感染症対策をしっかりと施すという条件を遵守していく必要がある。国から出ている指針と照らし合わせて、それに基づいて対応できるようにする。
- ・辰口福祉会館は交流ホールでは飲食ができるようになっている。ただ、パーティションの使用や人数制限など国のルールに基づいてやっている。

○「ノミクイ」について

**【参加者】**

- ・喫茶ひまわりが載っていない。掲載は申請が必要なのか。

**【市長】**

- ・確認してみます。

## ○火災情報や不審者情報の配信について

### 【参加者】

- ・どこかで火事がありましたというのを配信することはできないか。小松市ではLINEでの配信時に地図が出てくる。津幡町ではメールで何番地という住所が出てくる。
- ・不審者情報についても子どものいる親には送られるが、おじいちゃん・おばあちゃんにはいかない。そういう情報が欲しいという声をたくさん聴く。
- ・ほしい人にほしい情報が配信されるというのはすごくありがたいと思う。

### 【市長】

- ・防災行政無線の多重化を進めている。緊急情報だけでなく、生活に必要な情報や観光情報などを配信しようとしているので、今後検討してみたい。
- ・火災の詳細な情報については個人情報もあり、どこまで流せるかの検討も必要。
- ・どの程度のものをどのタイミングで流せるのか、関係部署と話をしていきたい。

## ○若い人たちの声を聞く機会について

### 【参加者】

- ・以前、知事があらゆる世代の人の話が聞きたいとおっしゃられていたが、婦人会では高齢化が進み、若い人が活動に参加しにくくなっている。能美市では若い人たちの声を聞く機会は市長も苦勞されていると思うが、どのように意識しているのか。

### 【市長】

- ・カフェトークの回数を重ねていきたいと思っている。特に子育て世代の皆さんは何を望んでいるのか、何にお困りなのかということは聞いてみたい。

## ○婦人会などの各種団体の人員減少について

### 【市長】

- ・婦人会や壮年団、自衛消防団などの人数が減ってきている。婦人会などの活動を通していろいろなコミュニケーションが生まれたり、新たな活動の原動力になっていたりするので、もっと何か広げられないかと思っている。感染症の影響でコミュニケーションが希薄になってきており、近い将来、町会・町内会活動にも影響してくるのではないかと危惧している。若いうちから地域のつながりの大切さを伝えていかなければと考えている。何かお知恵があれば教えてほしい。

**【参加者】**

- ・子育てや仕事、親の介護など、女性の負担が多いのかなと思う。それにより活動に参加しにくくなっていることも考えられる。
- ・婦人会から抜ける町会も出てきている。横のつながりをもっとアピールしていきたいが、なかなか。婦人会に限らず、全ての会において、会に入らなくても行事などではお手伝いしてね、という風になっていたら、近い将来心配になる。
- ・根上婦人会では、バザーだったり、保育園を巡回したり、水引をつくって寄贈したりしており、そういう活動を通して婦人会活動をPRしていけたらと思っている。
- ・昔の女性は家から出られなかったが、婦人会のときは家を出られた。そこでおいしいものを食べたりするのが楽しかったと聞いたが、今の女性は自由なので、婦人会への参加という名目が必要ないのではないか。
- ・前は、婦人会会員特典などがあったが、そういうのがだんだんなくなってきているのが現状。

○九谷茶碗まつりについて

**【参加者】**

- ・今年の九谷茶碗まつりの開催地などはどのようにお考えか。

**【市長】**

- ・業界の人も分散開催のメリットは感じている。九谷陶芸村での開催では雨風や治安、駐車場の遠さなどの課題があったが、分散開催によりその課題が解決したことを喜んでいる。その一方で、祭り全体の賑わいが薄れている。茶碗の販売店だけでなく、露店がたくさん並んでいると祭りの雰囲気があるが、今年のまつりは祭りというより商業祭、九谷焼の陶器市みたいだという声もあり、今年はどうしようかと思っている。

○打ち上げ花火について

**【市長】**

- ・花火を3か所同時に上げるのがいいか、3地区それぞれで3回上げるのがいいか、皆さんの意見を聞きたい。

**【参加者】**

- ・3回あると、3回見に行けるのでいい。

- ・花火をきっかけにお祭り会場に行く人も出てくるかもしれない。
- ・3か所同時に上がったときに、縦3列で見えてよかった。圧巻でした。

○踊りの出場者数、祭りの在り方について

**【市長】**

- ・年々踊りの出場者が減っている。どうしようかと悩んでいる。
- ・祭りの在り方も考えていく必要がある。去年は3年ぶりの開催ということもあって来場者が過去最高だった。子どもが多かったので、子どもが来たくなるような出し物をたくさんしたほうがいいのかなど。祭りの在り方もいろいろご提案いただければと思う。

**【参加者】**

- ・開催されるかわからなかったのが、去年は踊りの募集が周知された時期が遅かったということを知った。コロナ禍だったので、そうなっただけで、落ち着いてきたら増えないかなと希望的観測をしている。

5) 閉会